

【事業の概要】

1. 記念行事

1-1 第2回キーボード選手権 (A)

1-2 速記交流競技会の開催 (C)

会場+オンラインによる参加者(個人・団体)を募り、全国規模で開催する。

1-3 記念フォーラムの開催 (B)

日本速記協会と教職員組合運動史研究会(代表: 広田日本大学文理学部教授)の共催により、「戦後教育史研究への速記者の解説協力及び速記の新たな歴史的価値への期待」をテーマに開催する。

2. 記録事業

2-1 「日本の速記」のデータベース化 (B)

協会の機関誌「日本の速記」が2023年8・9月号で通巻1000号となることから、順次データベース化して検索、閲覧を可能とする。

2-2 速記年表の追補 (C)

3. 研究・開発事業

速記検定へのIBT方式の導入 (B)

検定の3～6級について、インターネットを経由して自宅等で受検できる方式を開発し、導入する。

4. 広報活動事業

速記検定専用ホームページの開設 (B)

検定専用のホームページを作り、速記及び速記検定の広報に活用する。

5. 上記に掲げた事業のほか、「日本速記140年記念事業」の趣旨に合致するもので、理事会において決定した事業

※ (A): 実施済みの事業 (B): 現在実施中の事業 (C): 計画中の事業